

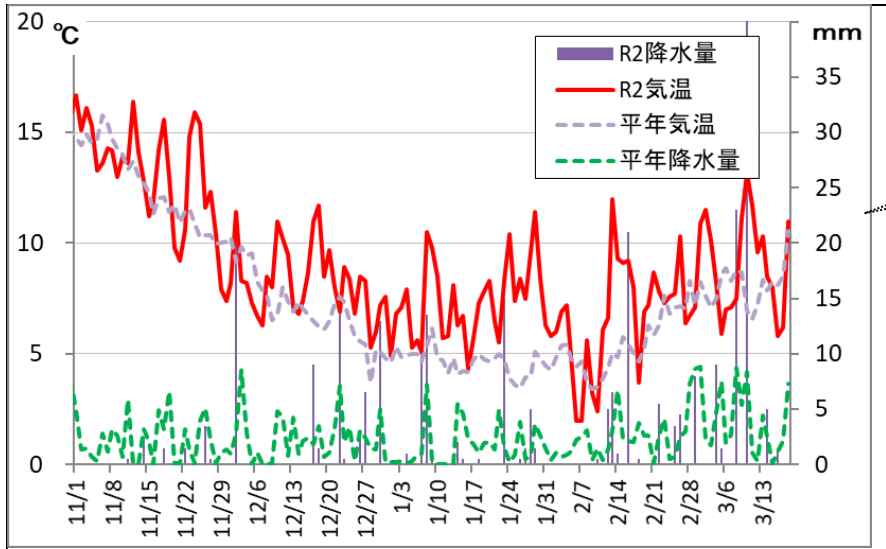
水田たより 4月号

令和2年3月26日

桑名地域農業改良普及センター 西山、馬場、大野、鷺野 (TEL: 0594-24-3642)

麦類の栽培管理

■今年の気象概要



11月1日～3月18日の気象状況
 積算気温 1,235℃ (平年比 118%)
 積算降水量 270 mm (平年比 82%)
 積算日照時間 708時間 (平年比 97%)

特に 12月以降の積算気温は平年比126%と、記録的な高温となっています。降水量の少ない状態が続いており、麦の生育には好条件となっています。

冬季は記録的な高温で推移しているため、生育は平年より10日ほど早いです。赤かび病の防除計画が重要です！！

■麦類生育基準田 (令和元年11月上旬播種) の生育状況

令和2年3月中旬時点の調査データ

品目	品種	場所	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉齢(葉)		幼穂長(cm)	
			本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
小麦	さとのそら	桑名市長島町	60	34	743	648	11.9	9.3	2.0	0.6
小麦	あやひかり	東員町	51	37	760	447	8.7	8.9	2.5	0.9
小麦	あやひかり	いなべ市藤原町	41	31	451	664	7.8	8.2	1.0	1.0
大麦	ファイバースノウ	いなべ市大安町	44	29	897	627	11.3	9.7	1.0	1.0
大麦	ファイバースノウ	いなべ市藤原町	25	18	735	550	8.4	9.4	0.3	0.3

・今年の生育はとても旺盛で、生育は平年より10日ほど早くなっています。生育の早かった前年と比較しても、草丈が伸び、茎数も多くなっています。

■今後の管理<赤かび病の適期防除が重要です！>

赤かび病の予想防除時期 (あやひかり)

※桑名市の積算気温をもとに予測。

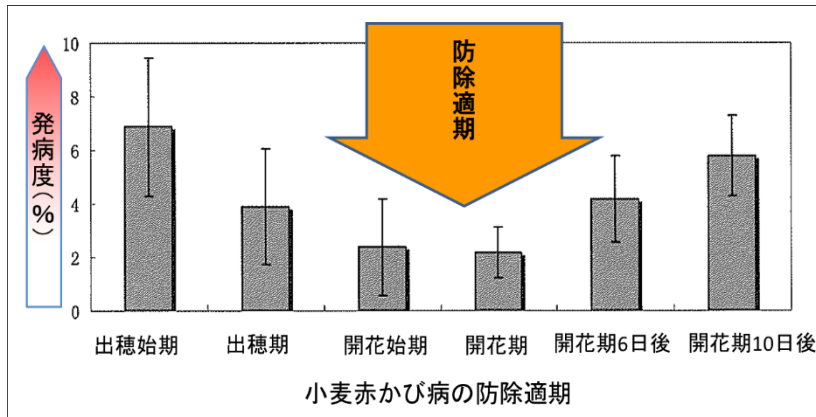
播種日	11/1	11/10	11/20	12/1	12/10
防除適期	4/11~14	4/16~19	4/21~24	4/25~28	4/27~30

さとのそら、ファイバースノウについても、あやひかりと同時期になることが見込まれます。

△今後の気象状況により変動します。

麦の生育状態を確認し、適期防除に心がけましょう△

(裏面へ)



・ **出穂期**から約7～10日後の開花期が赤かび病の**防除適期**となります。防除効果を高めるため、防除適期に防除計画を立ててください。
 ※出穂期とは、全体の**40～50%の茎から出穂**した日。ただし、1茎内で穂の先端が少しでも葉鞘から出れば出穂茎とみなします。

(出典 宮城県古川農業試験場)

水稻育苗管理 今年も春先の高温・冷え込みが予想されます。こまめな温度管理を！

■出芽期（播種後2～3日） **適正温度・・・30℃**

- ・出芽期の高温は、粃枯細菌病やリゾープス立枯病(白カビ)等の発生を助長し、一方で低温は、出芽の遅れによるカビ被害が発生しやすいため、適正温度を厳守しましょう。
- ・事前に**育苗器の動作確認**を行ったり、こまめに**器内の温度を確認**しましょう。

■緑化期（発芽後～7日目） **適正温度・・・日中20～25℃、夜間15～20℃**

- ・初期に強い光を当てると、白化や生育不良になる恐れがあるため、**太陽シート等の遮光資材を用いて光量を調整**しましょう。また、苗の草丈が決定する時期であるため、葉鞘が3.5cmぐらいになるように、こまめな温度管理を行いましょう。

■硬化期（緑化後～移植まで） **適正温度・・・日中15～20℃、夜間10～15℃**

- ・温度が上がりすぎると葉伸びした苗になり、田植え後の強冷風による植え傷みが発生しやすくなるため、ハウス内は**25℃以下になるよう換気**を行ってください。近年、4月中であっても気温が高く（下表参照）、過去5年間では外気温が30℃近い記録があるため、高温対策には十分注意してください。

<苗の生育と限界温度>

時期		ハウス内気温	障害の症状、程度
緑化期 (1葉期)	低温害	-1℃	2時間で根が枯死、地上部枯死
		2～4℃	20時間で奇形葉
		5℃	5時間で葉が萎れる
緑化後期～硬化期 (2葉展開～移植まで)	高温害	30℃	呼吸や消耗が盛んになり、異常徒長
		43℃	20～30分で生長点枯死、葉は枯れない
		49℃	1分で枯死

<過去5年間の4月10日～4月30日の外気温調べ(アメダス桑名)>

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
最低気温(℃)	6.1	3.6	5.4	6.4	3.2
最高気温(℃)	26.3	29.4	24.4	27.5	27.0

移植直後の水管理

- ・**移植可能な気温は12.5℃**であり、気温3℃以下では地上部が枯死して、生育が大幅に遅れることがあります。昨年**4月16日の最低気温が3.2℃**になったことから、一部圃場において苗の枯死も見られました。
- ・移植後に低温が予想される場合には、できるだけ**深水にして低温から苗を守り**ましょう。
(葉先が水面から出ていれば、苗は生育することができます。)

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策について

4月も気温が高い予想で、例年より**活動が早まる可能性**があります。早めの対策をしましょう。対策の詳細は「水田たより3月号」をご覧ください。
 ホームページにて、過去の水田たよりや他の情報も掲載しております。**桑名普及**でご検索ください。